



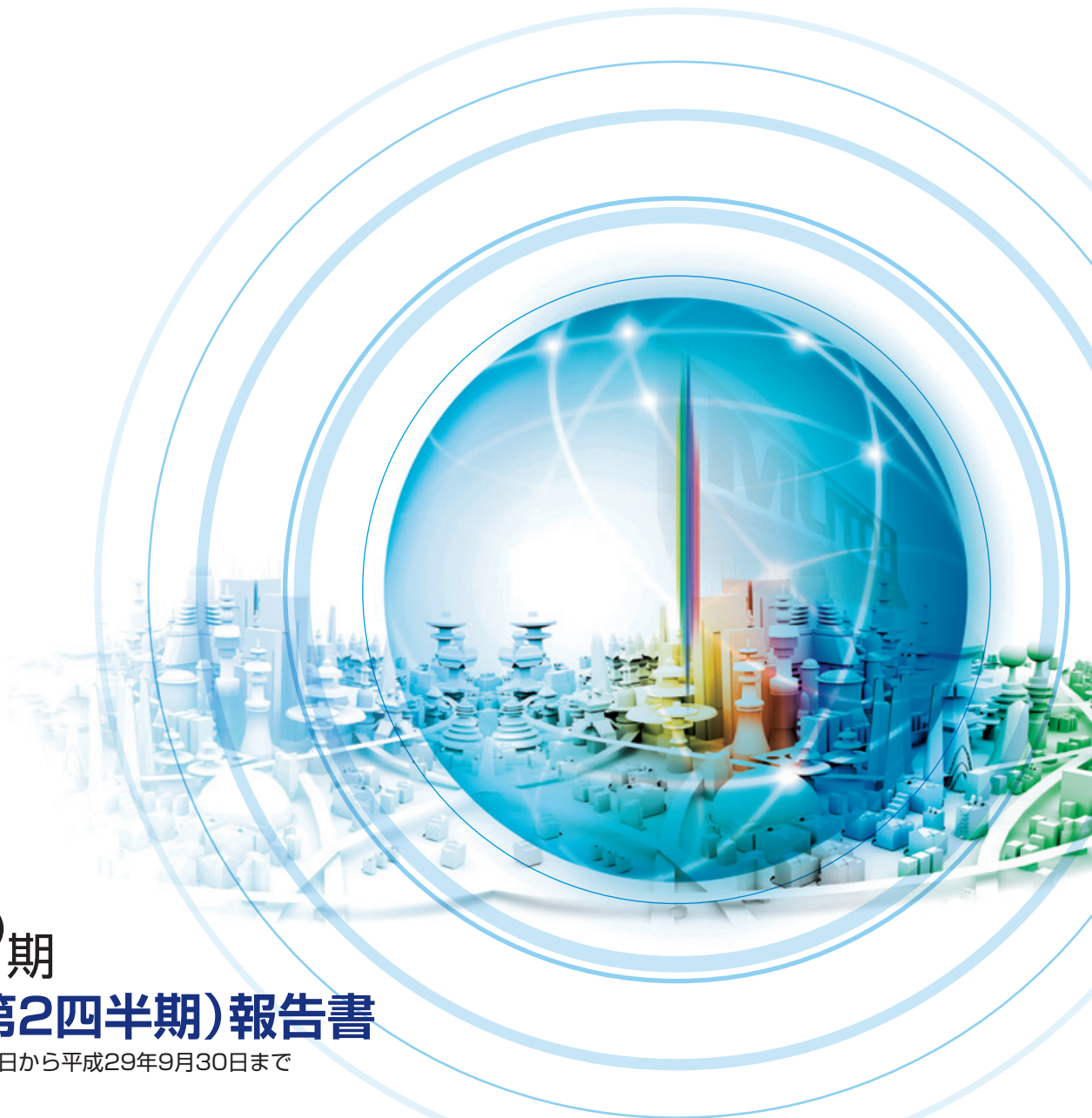
証券コード 7999

MUTOHホールディングス株式会社

MUTOH

第69期
中間(第2四半期)報告書

平成29年4月1日から平成29年9月30日まで



■株主の皆様へ

株主の皆様には、日頃より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
ここに、第69期中間（第2四半期）報告書をお届けし、当期の業績および当社グループにおける取り組みにつきまして、ご報告申し上げます。

■事業の経過および成果のご説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済環境は、全般的に回復傾向が続いているものの、アジア太平洋地域をはじめとした地政学的リスクなど先行きに不安定な要素は払拭されておりません。米国においては、雇用環境の改善が持続し景気回復基調が続いており、欧州ユーロ圏においては、底堅い内需に支えられて回復傾向を維持しているものの、英国においては、EU離脱に伴う先行き不透明感が根強く、中国をはじめとするアジア新興国においては、昨年後半からの回復傾向に一服感が見られます。

当社グループは、経営基盤の強化、意思決定のスピードアップを目的に前年度において組織再編を行うと同時に開発・生産・販売にわたる経営改革を推進、その結果、在庫の圧縮と合理化による経費削減等の効果が表れていますが、当社の主力製品である大判インクジェットプリンタ市場においては、大手メーカーの参入によって世界的に競争が激化し、製品価格の下落傾向が一段と強まっております。このような状況のなか、収益力向上を目的に製品構成、ターゲット分野を見直し、成長市場への事業転換を加速します。

大判インクジェットプリンタ事業においては、10月に米国ニューオリンズで開催された米国最大規模の広告・印刷産業の展示会「2017 SGIA Expo」において、MUTOH『ValueJet（バリュージェット）』プリンタシリーズの『VJ-1638X』『VJ-1638UH』『VJ-626UF』の3機種が、4部門で“プロダクト・オブ・ザ・イヤー”を受賞しました。『ValueJet』プリンタは、この米国最大規模の展示会で、今回で6年連続受賞という快挙を達成しており、これは『ValueJet』プリンタの高性能、高品質、そしてMUTOHの製品への取り組みが評価された証しでもあります。

3Dプリンタ事業においては、9月に高精細Full-HDサイズのDLPを搭載した光造形3Dプリンタ『ML-200』を新発売いたしました。8月にはインクジェットプリンタ業界大手のHP社が開発した高速3Dプリンタの販売ならびに同製品を用いたソリューションサービスの提供の開始に伴い本社ショールームをリニューアルオープンし、販売拡大に力を入れてまいります。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は99億23百万円（前年同期比0.5%増）となり、収益構造改革の一環として生産調整や評価減などが在庫圧縮を加速度的に実施したことによる一時的な原価率の上昇等により営業損失は46百万円（前年同期は16百万円の利益）、為替差益96百万円のほか営業外収益の計上により経常利益は68百万円（前年同期は98百万円の損失）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は17百万円（前年同期は1億94百万円の損失）となりました。

当社グループは、業績向上に向けて意欲的な経営戦略を展開してまいります。
皆様には、今後とも引き続きご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

基本方針

常に革新し
挑戦を続け
社会に貢献する

連結決算ハイライト

○売上高	9,923 百万円		
第69期第2四半期	第66期	第67期	第68期
	23,475 百万円	23,449 百万円	20,493 百万円
第2四半期	11,467 百万円	11,375 百万円	9,870 百万円

○営業損益	△46 百万円		
第69期第2四半期	第66期	第67期	第68期
	1,306 百万円	689 百万円	183 百万円
第2四半期	876 百万円	264 百万円	16 百万円

○経常損益	68 百万円		
第69期第2四半期	第66期	第67期	第68期
	1,354 百万円	622 百万円	199 百万円
第2四半期	928 百万円	237 百万円	△98 百万円

○親会社株主に帰属する四半期(当期)純損益	17 百万円		
第69期第2四半期	第66期	第67期	第68期
	2,684 百万円	148 百万円	△113 百万円
第2四半期	2,443 百万円	0 百万円	△194 百万円

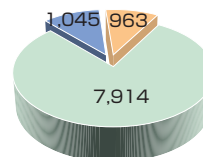
○総資産額	30,730 百万円		
第69期第2四半期	第66期	第67期	第68期
	32,027 百万円	31,701 百万円	30,514 百万円

○純資産額	23,716 百万円		
第69期第2四半期	第66期	第67期	第68期
	25,061 百万円	23,917 百万円	23,484 百万円

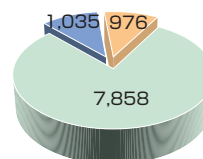
第2四半期事業セグメント 売上高 (百万円)

■ 情報画像関連機器事業
 ■ 情報サービス事業
■ 設計計測機器事業・不動産賃貸事業
 ならびにその他の事業

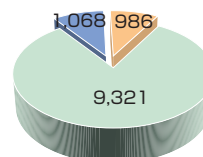
・第69期 **9,923** 百万円



・第68期 **9,870** 百万円



・第67期 **11,375** 百万円



通期の 業績予想

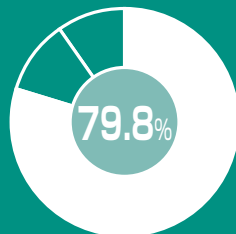
	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
連結業績予想	21,100	420	420	250

(平成29年5月19日公表値)

第2四半期累計期間までは、収益構造改革の一環として在庫圧縮を加速度的に実施したことによる原価率の上昇等により、営業利益が予想を下回りましたが、第3四半期以降は、在庫の圧縮と合理化による経費削減等の効果が期待されます。このため、現時点においては平成29年5月19日に公表いたしました通期の業績予想に変更はございません。今後、業績予想に変更の必要性が生じた場合には、速やかに公表いたします。

事業セグメントの概況

情報画像関連 機器事業



売上高
7,914百万円

アジア地域においては、中国をはじめとする新興国における大手メーカーの価格攻勢による大判インクジェットプリンタ販売価格の下落、3Dプリンタ販売の一服感と低価格化の進行による影響から、売上高31億70百万円（前年同期比2.5%減）、セグメント損失2億71百万円（前年同期は1億49百万円の損失）となりました。

北アメリカ地域においては、為替の円安の恩恵を受けたものの大手メーカーの市場参入により、販売価格が下落し減収減益となり、売上高17億43百万円（前年同期比3.5%減）、セグメント利益57百万円（前年同期比55.9%減）となりました。

ヨーロッパ地域においては、欧州全般に広がる地政学的リスクと大手メーカーの価格攻勢の影響はあるものの、為替の円安と経費削減等により増収増益となり、売上高30億円（前年同期比7.3%増）、セグメント利益1億35百万円（前年同期比171.6%増）となりました。

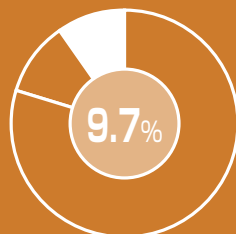
情報サービス 事業



売上高
1,045百万円

情報サービス事業においては、主に既存事業（CAD事業・システムソリューションサービス事業）の販売が堅調に推移し、売上高10億45百万円（前年同期比1.0%増）となりました。昨年10月に実施した国内子会社間の事業集約による経費削減等の合理化効果などにより、セグメント利益は67百万円（前年同期比25.0%増）となりました。

設計計測機器事業 不動産賃貸事業 ならびに その他の事業



売上高
963百万円

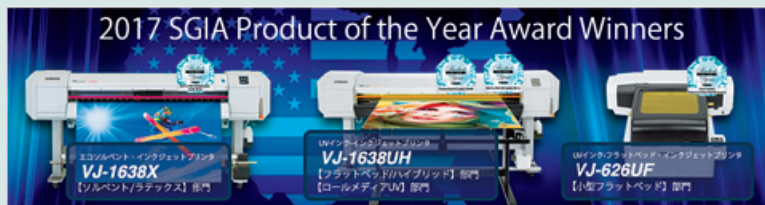
設計計測機器事業においては、売上高は前年を若干下回る5億76百万円（前年同期比7.5%減）となりました。セグメント利益は、効率化による経費削減等により、4百万円（前年同期は6百万円の損失）となりました。

不動産賃貸事業においては、自社利用物件の一部を賃貸物件に変更し新規テナントが入居したことにより増収増益となり、売上高1億64百万円（前年同期比27.4%増）、セグメント利益1億21百万円（前年同期比17.6%増）となりました。

その他の事業においては、販売は前年並みに推移したものの為替の円安の影響により仕入原価が上昇し、売上高2億22百万円（前年同期比0.7%減）、セグメント損失7百万円（前年同期は1百万円の利益）となりました。

2017 SGIA Expo “プロダクト・オブ・ザ・イヤー” 6年連続受賞を達成！

10月10日～12日にアメリカ ニューオーリンズで開催された「2017 SGIA Expo」において、MUTOH ValueJet プリンタシリーズの [VJ-1638X] [VJ-1638UH] [VJ-626UF] の3機種が、4部門で“プロダクト・オブ・ザ・イヤー”を受賞しました。



SGIA (Specialty Graphic Imaging Association) Expo は、サイングラフィックや印刷業界向けに看板やディスプレイ等の広告制作のための大型のプリンタ設備や、様々な材料等を展示する米国最大規模の展示会です。このアメリカ最大級の広告・印刷産業の展示会で、6年連続の受賞は快挙であり、ValueJet プリンタの高性能、高品質、そしてMUTOHの製品への取り組みが評価された証でもあります。

設計者のイメージを簡単に図面に落とせる 『製図道具 PHOTO EXPERT』 Windows10対応版



設計者の創造ツールとして
便利でありながら本格機能
を搭載

『製図道具 PHOTO EXPERT』は、既存図面の一部を修正して再利用したい、図面から躯体図を起こすのに手間がかかる、図面から面積や距離を測定したい、図面から指示書や説明書を作成したい、そんなときスキャナからダイレクトに取り込んで手早く図面を作成できる設計製図ツールです。

わかりやすい操作



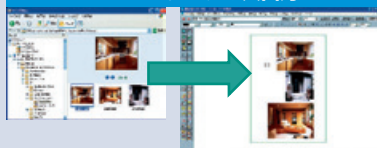
- ◆ポップアップメニューですばい操作
- ◆強化されたシステム設定

イメージデータの編集



- ◆イメージデータとCADデータを重ね合わせて1枚の図面として印刷出力

イメージデータの出入力



- ◆DWG、DXFファイルの入出力が可能
- ◆メタファイル (EMF、WMF) とPDFファイルの出力が可能
- ◆イメージファイルをドラッグ&ドロップで配置可能

教育現場で活用され続けている 設計製図機械『ドラフター』

設計製図機械『ドラフター』は、1953年(昭和28年)に誕生し、ベルトプリー式からXYレール式へと変遷しながら多くの設計者に活用され、2007年(平成19年)には日本機械学会の「機械遺産」に認定されています。

現在の設計作業は、CADが主流となっており、MUTOHの「M-Draf」シリーズも進化を続けて利用されています。CADによる設計現場でも、企画・計画段階では、フリーハンドによる思索プロセスを導入している場合が多いようです。このため、「手書き製図」の素養が重要となってきます。そこで、あくまでも製図の基礎と発想の訓練は、「手書き製図」にあるとの認識から、各地の教育機関の製図教室では、「ドラフター」を活用していただいております。「手書き製図」で製図の基礎を十分体得した上でCADによる設計に移行することで、その特性と便利ところが理解でき、企業の現場へもスムーズに溶け込んでいきます。

「ドラフター MH-1」
機械遺産第21号
2007年第1回認定



「ドラフター
LAJ-1000
LAJ-1000L」
製図教室風景例

A2サイズ・最大150mm厚のメディアに対応 UVフラットベッド・インクジェットプリンタ『VJ-626UF』新発売

『VJ-626UF』は、A2サイズに対応した最大594mm×483mm、高さ150mmまでの立体メディアにもダイレクトに印刷が可能なUVフラットベッド・インクジェットプリンタです。本体サイズも比較的コンパクトなボディサイズ（幅1,188mm×奥行1,533.6mm×高さ604.3mm）となっております。

（※専用スタンドはオプション）

様々な素材に印刷できるUVインクの特徴を活かし、ギフト・ノベルティ業界や工業印刷用途などでニーズの高い、少量多品種のオンデマンド印刷に最適なプリンタです。

- ◆A2サイズ、高さ150mmの立体メディアにも対応したコンパクトなフラットベッドモデル
- ◆エネルギー効率の良いLED-UVランプを採用し、省電力、長寿命を実現
- ◆印刷開始時だけでなく、印刷中もヘッドとメディアの距離を制御する「自動テーブル昇降機能」を採用
- ◆LEDポインターでメディアのセット位置や印刷開始点の設定が可能
- ◆内蔵された吸引ファンでメディアをしっかり固定し、印字ズレを防ぐ「テーブルユニット」を標準装備
- ◆MUTOH純正UVインクはハードタイプと、新たに加わった延伸性のあるソフトタイプの2種類を用意。C/M/Y/K+白、バーニッシュ（光沢塗装剤）で、美しく多彩なレイヤー印刷が可能
- ◆高精細な印刷を実現する1440×1440dpi（16pass）の高品質モードをサポート
- ◆白インクを定期的に循環させ、経路内の顔料沈着を防止。安定した作画品質を達成（ただし、スリープモードによる常時通電が必要）
- ◆Windows対応の純正プリンタドライバを標準装備。ワード、エクセル、パワーポイントなどのオフィスソフトからすばやく簡単印刷
- ◆プリンタに必要なソフトウェアを標準搭載し、画像データのレイアウトからマルチレイヤー印刷まで、容易に実行可能
- ◆MUTOHバリュージェットステータスマニタにより、リアルタイムでプリンタの状況を把握
- ◆本体設置の柔軟性と作業効率を高める専用オプションスタンド



UVフラットベッド・インクジェットプリンタ
『VJ-626UF』



アイデア・イメージ・思いのまま♪
ギフト・ノベルティグッズ・工業印刷に！

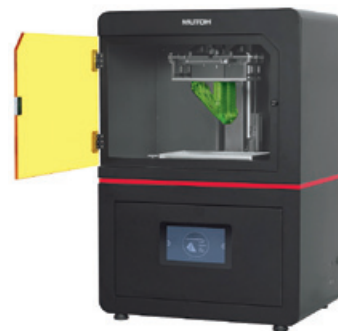
高精細Full-HDサイズのDLP搭載 光造形3Dプリンタ『ML-200』新発売

『ML-200』は、Full-HDサイズのDLP（Digital Light Processing）を搭載した光造形3Dプリンタです。当方式は、面を一度に造形できるため造形スピードが速く、高精細な造形が可能です。

卓上サイズでありながら、192×108×200mmの広い造形エリアとXY解像度0.1mmを実現しました。積層ピッチは、0.025mmから0.1mmまで選択でき、よりシャープで滑らかな造形が可能です。

デザイン検証や試作、フィギュアなど、高精度が求められる様々な分野でご利用いただけます。

Value
3D MagiX



光造形3Dプリンタ
『ML-200』



光造形サンプル



単元株式数変更および株式併合 ならびに「株主優待制度」変更についてのお知らせ

当社は、平成29年10月1日に当社普通株式の単元数を変更し、全国証券取引所が望ましいとしている投資単位の水準および中長期的な株価の変動等を勘案し株式併合を実施いたしました。また、単元株式数変更、株式併合に伴い、「株主優待制度」の対象株主、所有区分を変更いたしました。

(注) 詳しくは、平成29年5月19日付の開示情報をご覧ください。 <http://www.mutoh-hd.co.jp/>

1. 単元株式数変更および株式併合の概要：

- ◆単元株式数変更……当社普通株式の単元株式数を1,000株から100株に変更
- ◆株式併合……普通株式10株を1株に併合
- ◆実施時期……平成29年10月1日

2. 「株主優待制度」変更後の概要：

- ◆対象株主……100株以上保有(3月末名簿)の株主様
- ◆所有区分……以下の3区分でカタログギフトを贈呈
 - ①100株以上～500株未満…… ¥3,000相当商品
 - ②500株以上～1,000株未満… ¥5,000相当商品
 - ③1,000株以上 …………… ¥10,000相当商品

連結財務諸表

■ 連結貸借対照表

(単位：百万円)

(単位：百万円)

科目	期別	当第2四半期末	前第2四半期末	前期末	科目	期別	当第2四半期末	前第2四半期末	前期末
		平成29年9月30日現在	平成28年9月30日現在	平成29年3月31日現在			平成29年9月30日現在	平成28年9月30日現在	平成29年3月31日現在
資産の部					負債の部				
流動資産		18,747	18,251	18,689	流動負債		4,834	4,760	4,850
現金及び預金		9,492	8,046	8,796	支払手形及び買掛金		2,342	2,887	2,817
受取手形及び売掛金		3,752	3,587	4,020	その他		2,491	1,873	2,032
たな卸資産		4,110	5,117	4,702	固定負債		2,178	2,313	2,180
その他		1,392	1,499	1,170	退職給付に係る負債		1,740	1,892	1,750
固定資産		11,982	11,642	11,824	その他		438	420	430
有形固定資産		8,684	8,701	8,578	負債合計		7,013	7,074	7,030
無形固定資産		277	282	272	純資産の部				
投資その他の資産		3,020	2,657	2,973	株主資本		24,448	24,513	24,591
投資有価証券		2,276	1,957	2,205	資本金		10,199	10,199	10,199
その他		744	700	767	資本剰余金		4,182	4,182	4,182
資産合計		30,730	29,894	30,514	利益剰余金		12,415	12,478	12,558
					自己株式		△ 2,349	△ 2,345	△ 2,348
					その他の包括利益累計額		△ 1,548	△ 2,464	△ 1,928
					非支配株主持分		817	770	820
					純資産合計		23,716	22,819	23,484
					負債・純資産合計		30,730	29,894	30,514

■ 連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	期別	当第2四半期	前第2四半期	前 期
		自平成29年4月1日 至平成29年9月30日	自平成28年4月1日 至平成28年9月30日	自平成28年4月1日 至平成29年3月31日
売上高		9,923	9,870	20,493
営業損益		△ 46	16	183
経常損益		68	△ 98	199
税金等調整前四半期(当期)純損益		169	△ 205	102
親会社株主に帰属する四半期(当期)純損益		17	△ 194	△ 113

■ 連結キャッシュ・フロー計算書

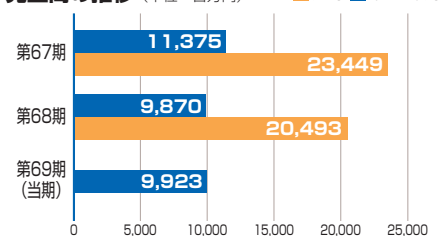
(単位：百万円)

科目	期別	当第2四半期	前第2四半期	前 期
		自平成29年4月1日 至平成29年9月30日	自平成28年4月1日 至平成28年9月30日	自平成28年4月1日 至平成29年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー		672	93	797
投資活動によるキャッシュ・フロー		313	△ 97	△ 246
財務活動によるキャッシュ・フロー		△ 215	△ 385	△ 394
現金及び現金同等物の増減額		936	△ 699	36
現金及び現金同等物の期首残高		8,556	8,519	8,519
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高		9,492	7,820	8,556

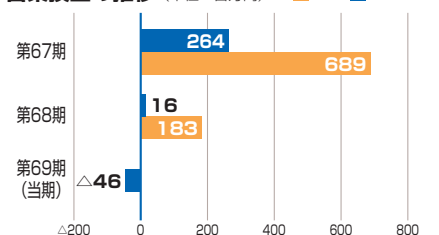
■ 事業セグメントにおける連結会社

事業区分	会社名
情報画像関連機器事業	武藤工業(株)・ムトーアメリカ社・ムトーベルギー社・ ムトーノースヨーロッパ社・ムトードイツ社・ ムトーシンガポール社・ムトーオーストラリア社
情報サービス事業	ムトーアイテックス(株)・武藤工業(株)・ (株)ムトーフィギュアワールド
設計計測機器事業	武藤工業(株)
不動産賃貸事業	MUTOHホールディングス(株)・(株)ムトーエンジニアリング・ (株)ムトーエンタープライズ
その他の事業	(株)ムトーエンタープライズ

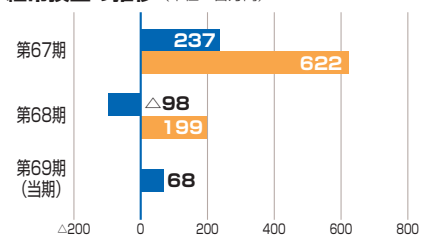
売上高の推移 (単位：百万円)



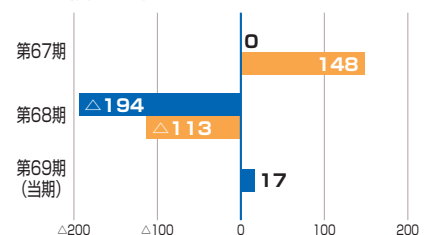
営業損益の推移 (単位：百万円)



経常損益の推移 (単位：百万円)



親会社株主に帰属する当期純損益の推移 (単位：百万円)

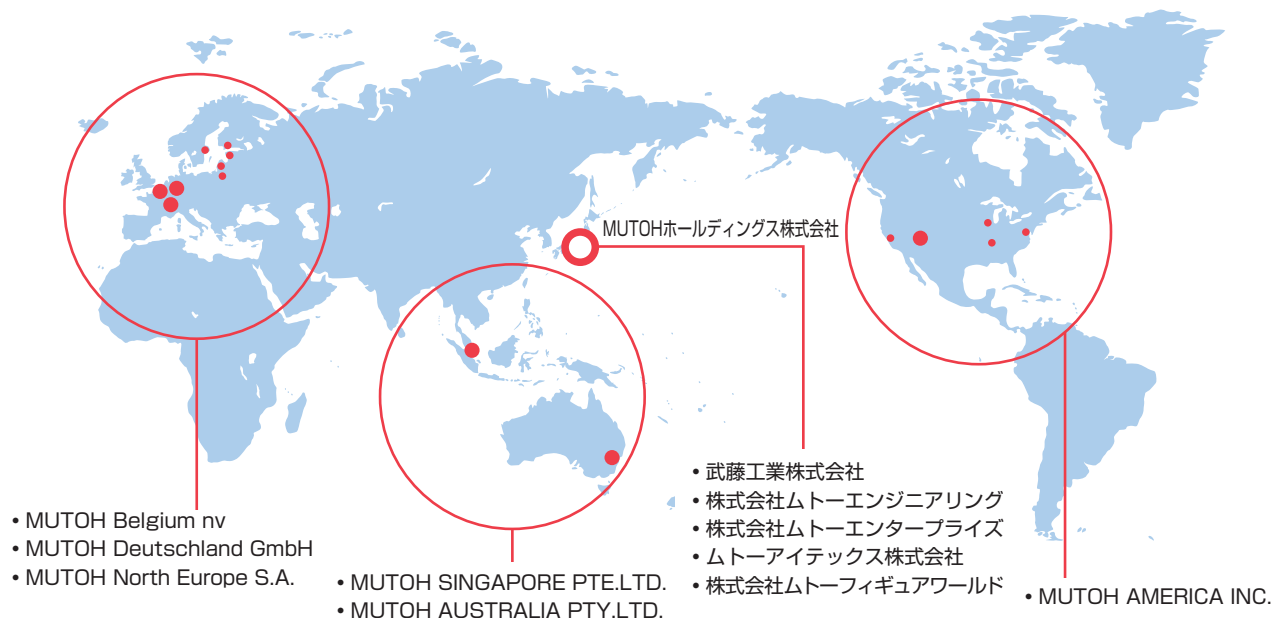


会社の概要 (平成29年9月30日現在)

商号 MUTOHホールディングス株式会社
(英文社名 MUTOH HOLDINGS CO., LTD.)
設立 1952年(昭和27年)3月5日
(創業:1942年(昭和17年)12月)
資本金 101億99百万円

本社事務所 東京都世田谷区池尻三丁目1番3号
TEL:03-6758-7100(代)
主な事業内容 グループ会社の経営管理および資産管理
ホームページ <http://www.mutoh-hd.co.jp>

MUTOHグループ会社



役員 (平成29年9月30日現在)

取締役会長	坂本俊弘	取締役	高山允伯	取締役監査等委員	立沢肇
代表取締役社長	早川信正	取締役	高山芳之	取締役監査等委員	山田一寛
取締役	鴨居和之	取締役	小林裕輔	取締役監査等委員	飛田博

株式の状況 (平成29年9月30日現在)

- 発行可能株式総数 170,000,000株
- 発行済株式総数 54,818,180株
- 1単元の株式数 1,000株
- 株主数 6,489名

(注) 平成29年10月1日に実施の単元株式数変更および株式併合後の株式数は以下の通りです。

- ◆発行可能株式総数 17,000,000株
- ◆発行済株式総数 5,481,818株
- ◆1単元の株式数 100株

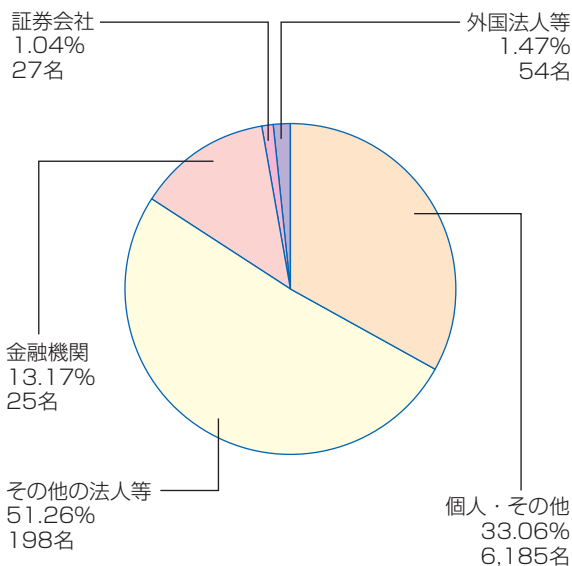
■ 大株主の状況

株主名	所有株式数(株)	持株比率(%)
TCSホールディングス株式会社	13,220,000	28.82
株式会社みずほ銀行	2,071,399	4.52
武藤栄次	1,580,586	3.45
三井住友信託銀行株式会社	1,457,000	3.18
ユニシステム株式会社	923,000	2.01
エヌ・ティ・ティ・システム開発株式会社	719,000	1.57
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	653,000	1.42
堀啓一	591,000	1.29
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	571,000	1.24
ハイテクシステム株式会社	561,000	1.22

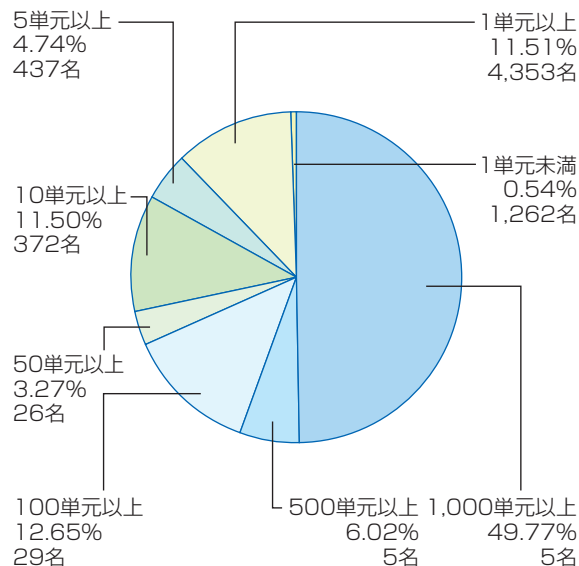
(注) 1. 当社は自己株式8,954,502株を保有しておりますが、上記「大株主」からは除いております。

2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

◆所有者別分布状況



◆所有株式数別分布状況



株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月

期末配当金
受領株主確定日 毎年3月31日

中間配当金
受領株主確定日 毎年9月30日

公告方法 電子公告により当社ホームページに掲載
<http://www.mutoh-hd.co.jp>

※やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合には、「日本経済新聞」に公告いたします。

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

郵便物送付先 〒168-0063

東京都杉並区和泉二丁目8番4号

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)

取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の全国各支店で行っております。

ご注意

1. 住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

2. 未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

この冊子は、環境にやさしい「FSC認証紙」「植物油インキ」を使用し、印刷工程で有機溶剤等を使わない「水なし印刷」を採用して印刷し、針金を使わずに製本しています。

